



早期発見→通報！障害者虐待を見逃さない



「虐待」を受けている人は、本人にその自覚がない場合や、あきらめや我慢の気持ちが強く、自らSOSを訴えられないことがあります。さらに障害のある人の中には、自らの気持ちを言葉にして他者に伝えることが苦手な人もいます。

周囲の人々が、小さな兆候を見逃さないことが大切です。

障害者虐待発見チェックリスト

例示に類似の「かもしれないサイン」にも注意深く目を向けましょう

1 身体的虐待のサイン

- ☐ 身体（頭、顔、頭皮を含む）に小さな傷が頻繁にみられる
- ☐ 太ももの内側や上腕部の内側、背中などに傷やみみずばれがみられる
- ☐ 回復状態がさまざまに違う傷、あざがある
- ☐ お尻、手のひら、背中などに火傷や火傷の跡がある
- ☐ 急におびえたり、こわがったり、震えるたりする
- ☐ 「こわい」「嫌だ」と施設や職場へ行きたくない
- ☐ 傷やあざの説明のつじつまが合わない
- ☐ 手をあげると、頭をかばうような格好をする
- ☐ 自分で頭をたたく、突然泣き出すことがよくある
- ☐ 医師や保健、福祉の担当者に相談するのをちゅうちょする
- ☐ 医師や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまが合わない



2 性的虐待のサイン

- ☐ 不自然な歩き方をする、座位を保つことが困難になる
- ☐ 肛門や性器からの出血、傷がみられる
- ☐ 性器の痛み、かゆみを訴える
- ☐ 急におびえたり、こわがったりする
- ☐ 周囲の人の体をさわるようになる
- ☐ 卑猥な言葉を発するようになる
- ☐ ひと目を避けたがる、一人で部屋にいたがるようになる
- ☐ 性器を自分でよくいじるようになる
- ☐ 眠れない、不規則な睡眠、夢にうなされる



3 心理的虐待のサイン

- ☐ かきむしり、かみつきのなど、攻撃的な態度がみられる
- ☐ 不規則な睡眠、うなされる、眠ることへの恐怖、過度の睡眠などがみられる
- ☐ 身体を萎縮させる
- ☐ おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどパニック症状を起こす
- ☐ 食欲の変化が激しい、摂食障害（過食、拒食）がみられる
- ☐ 自傷行為がみられる
- ☐ 無力感、あきらめ、なげやりな様子になる、顔の表情がなくなる
- ☐ 体重が不自然に増えたり、減ったりする



4 放棄・放任のサイン

- ☐ 身体から異臭、汚れがひどい髪、爪が伸びて汚い、皮膚の潰瘍
- ☐ 部屋から異臭がする、極度に乱雑、ベタベタした感じ、ゴミを放置している
- ☐ ずっと同じ服を着ている、汚れたままのシャツ、濡れたままの下着
- ☐ 体重が増えない、お菓子しか食べていない、よそではガツガツ食べる
- ☐ 過度に空腹を訴える、栄養失調が見て取れる
- ☐ 病気やけがをしても家族が受診を拒否、受診を勧めても行った気配がない
- ☐ 学校や職場に出てこない
- ☐ 支援者に会いたがらない、話したがらない



5 経済的虐待のサイン

- ☐ 働いて賃金を得ているのに貧しい身なりでお金を使っている様子がみられない
- ☐ 日常生活に必要な金銭を渡されていない
- ☐ 年金や賃金がどう管理されているのか本人が知らない
- ☐ サービスの利用料や生活費の支払いができない
- ☐ 資産の保有状況と生活状況との落差が激しい
- ☐ 親が本人の年金を管理し遊興費や生活費に使っているように思える



周囲の人の「気づき」が救いの第一歩。セルフネグレクトは本人の命に関わる問題です。

セルフ ネグレクトの サイン

- ☐ 昼間でも雨戸が閉まっている
- ☐ 電気、ガス、水道が止められている、新聞、テレビの受信料、家賃の支払いが滞っている
- ☐ ゴミが部屋の周囲に散乱している、部屋から異臭がする
- ☐ 郵便物がたまったまま放置されている
- ☐ 野良猫のたまり場になっている
- ☐ 近所の人や行政が相談に乗ろうとしても遠慮し、あきらめの態度がみられる